

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部	文化産業観光部	課	文化振興課
---	---------	---	-------

施設名称	〔5〕 東京都台東区立一葉記念館					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	文化施設5箇所					
(3)経営状況	26年度決算 歳入 619,585,367円 歳出 546,711,643円 収支差額 72,873,724円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区竜泉3-18-4					
(2)設置目的	樋口一葉は、竜泉寺町に住み、その体験を元に『たけくらべ』を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。					
(3)利用者	区民ほか					
(4)開館日・時間	開館日：休館日（月曜日 / 12月29日～1月3日 / 特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）					
(5)規模	延べ床面積861.04㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階、塔屋、展示室、 収蔵庫、学芸研究室、展示準備室、事務室、エントランスギャラリー、倉庫、研修室、 小会議室					
(6)人員体制	7名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）再任用（1）専門員（2） 財団嘱託員（1） 特例嘱託員（1）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓・その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。文化ボランティアガイド事業。					
(2)自主事業	特別展・企画展、一葉祭（記念講演・朗読、ボランティアと行く「たけくらべ」ゆかりの地めぐり）、特別講座（朗読サロン、文学講座、くずし字解読講座、文化カレッジ、朗読会、上野学園ギャラリーコンサート）					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	19,684,000	19,014,000	17,896,000	16,131,000	17,365,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	19,684,000	19,014,000	17,896,000	16,131,000	17,365,000
決算	委託料	12,614,691	14,331,580	15,957,861	15,920,386	16,626,824
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	12,614,691	14,331,580	15,957,861	15,920,386	16,626,824
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
開館日数	日	304	301	299	295	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (28年度)	24年度	25年度	26年度	
入館者数	人	15,000	13,749	13,555	15,249	

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

平成26年度に購入した一葉自筆資料8点を中心とした特別展、実践女子大学との連携協定締結記念特別展・特別講演、さらには前年度好評だった「朗読会」の回数を増やすなど、来館者のニーズに沿った活発な事業を展開した。また多くの入館者が見込まれる西の市の日には臨時開館するとともに、開館時間を午後7時まで延長するなど、入館者数の回復に向け積極的な取組みを行なった。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[3]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[3]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[3]
	(c)利用者数等の目標達成	[2]		
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)管理経費の効率化	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	S	「文化カレッジ」や上野学園と連携したギャラリーコンサートの開催等の新しい自主事業を行いつつ、入館者増が見込まれる西の市の日の臨時開館や開館時間延長など来館者サービスの向上に積極的に取り組んだ。
(2)施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされている。また、修繕や補修についても、常に区と連絡を取りながら適切に行い、施設の維持管理に努めている。
(3)利用者の満足度	S	連携協定を結んだ実践女子大学との記念特別展・特別講演を開催し、関係団体との連携の充実を図った。また、来館者の要望に答えて実施した「文化カレッジ」や「朗読会」など、ニーズに沿った事業が集客に結び付き、入館者数を大幅に伸ばした。
(4)収入支出	A	協定書に基づき、予算の範囲で軽微な施設修繕を行うなど、適正に予算の執行がなされている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好	連携協定を活かした特別展の充実や来館者のニーズに沿った新しい事業への積極的な取組み、集客が見込まれる西の市の日の臨時開館・開館時間延長などの運営努力が入館者数の回復に繋がった。
-----------	--

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

一葉祭で例年好評なボランティアガイドによる「ゆかりの地めぐり」を一葉祭期間以外でも実施する予定である。また、年間パスポートの発行や半券割引サービスを開始しており、今後も来館者のニーズに沿った事業の充実を図り、来館者サービスの質を維持していく。